



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月28日

上場会社名 ピー・シー・エー株式会社 上場取引所 東  
コード番号 9629 URL <https://pca.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 文昭  
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 坂下 幸之 TEL 03-5211-2711  
半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：有（決算説明会動画を配信予定）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	7,895	11.6	1,375	37.7	1,408	37.2	913	38.4
2024年3月期中間期	7,074	14.8	998	17.8	1,026	17.8	660	33.5

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 1,435百万円 (124.9%) 2024年3月期中間期 638百万円 (10.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	45.59	45.39
2024年3月期中間期	33.00	32.83

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	33,085	18,749	55.9	922.62
2024年3月期	33,557	18,963	55.7	932.76

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 18,500百万円 2024年3月期 18,685百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	81.00	81.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	83.00	83.00

直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,507	9.9	2,357	2.1	2,391	2.1	1,656	2.8	82.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	22,000,000株	2024年3月期	22,000,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	1,948,057株	2024年3月期	1,967,057株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	20,041,353株	2024年3月期中間期	20,013,645株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいております。予想に内在するさまざまな不確定要因やこの後の事業運営における内外の状況等の変化により、実際の業績は見通しと異なる場合があります。業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国の経済状況は、国内における行動制限解除や海外からの入国制限の緩和によるインバウンド需要の回復等により個人消費や設備投資が増加し、コロナ禍からの経済活動の正常化が一層進んできております。一方で金利上昇気配の高まりや円安の進行、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、エネルギー・資源コストの高騰などによる国内物価の上昇等、先行きが不透明な状況が続いております。

基幹業務クラウドサービスや業務ソフトウェアの提供においても品質・サービスを維持するための費用が増加するなか、徹底した品質管理とサービス原価の低減、業務効率化等を行ってまいりましたが、当社においても2023年7月より各種PCAソフトや保守契約等の製品・サービスの価格改定を行いました。

そのような中で、当社はサブスクリプション型の基幹業務システムベンダーとして、開発・サポート資源をサブスクリプションサービスに注力するために、当社が提供しているパッケージ版の「PCAソフト」の販売を2024年3月末で終了し、サポートも2029年3月に終了することといたしました。

また、当社が開催しているビジネスイベント『PCAフェス2024』を2024年7月～2024年8月に東京・大阪・名古屋・仙台の4都市でリアル開催いたしました。多くの来場者を迎え「総務・人事・経理の今知りたいが集まる日」をテーマに、本格的に運用が開始されたインボイス制度や電子帳簿保存法、そして人的資本経営、健康経営、エンゲージメント向上につながる情報をご案内しました。

「PCA Hub」サービスを中心としたバックオフィス業務の「生産性向上」「デジタル化」を推進するための製品も数多く展示し、成功体験等を紹介いたしました。

今後も当社グループは、「マネジメントサポート・カンパニー」としての地位を確立するために、業務管理ソフトウェア・サービスの提供にとどまらない課題解決サービスを提供し、お客様の社業の発展となる「カスタマーサクセス」に貢献してまいります。

PCAクラウドシリーズの利用法人数は、2024年9月末で23,797法人となり順調に推移しています。「PCAクラウド」「PCAクラウド on AWS」は、自社でのサーバー管理が不要で、初期費用がなくPCAソフトが利用可能なサービスとなっております。

また、当社子会社で提供している勤怠管理のクラウドサービスについても「働き方改革」への対応を実現するための一つの手段としての需要を見込み、今後も業績成長を図ってまいります。

このような状況下において、当社グループの当中間連結会計期間の業績は、価格改定やクラウドサービス利用者の増加等により、売上高は7,895百万円(前年同期比11.6%増)となりました。利益項目については、営業利益は1,375百万円(前年同期比37.7%増)、経常利益は1,408百万円(前年同期比37.2%増)となり、親会社株主に帰属する中間純利益は913百万円(前年同期比38.4%増)となりました。また、当社の所有している政策保有株式を売却したことにより投資有価証券売却益22百万円及び投資有価証券売却損46百万円を特別利益及び特別損失に計上しております。

当社グループは単一セグメントにつき、セグメントごとの記載に代えて、種類別売上高を記載しております。

#### 種類別売上高

種類	売上高(百万円)	構成比(%)	前期比増減(%)
クラウドサービス	4,509	57.1	30.9
保守サービス	1,906	24.1	11.1
製品 (従来型ソフトウェア)	299	3.9	△58.1
商品(帳票等)	215	2.7	7.9
その他営業収入	967	12.2	△3.5
合計	7,895	100.0	11.6

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間における財政状態(連結)の変動状況におきましては、当社グループの財政状態に重要な影響を及ぼすような事象等の特段の記載を要するものはありません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年4月25日の「2024年3月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想から変更はありません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,934	20,178
受取手形及び売掛金	3,074	2,776
電子記録債権	1,099	750
有価証券	100	100
棚卸資産	291	242
その他	372	461
流動資産合計	25,872	24,509
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	981	1,045
土地	2,371	2,371
その他(純額)	206	227
有形固定資産合計	3,559	3,644
無形固定資産		
その他	186	261
無形固定資産合計	186	261
投資その他の資産		
投資有価証券	2,773	3,710
その他	1,165	960
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	3,937	4,669
固定資産合計	7,684	8,576
資産合計	33,557	33,085

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	159	121
未払法人税等	434	442
契約負債	10,076	10,104
賞与引当金	475	485
役員賞与引当金	28	—
その他	1,664	1,397
流動負債合計	12,838	12,550
固定負債		
役員退職慰労引当金	50	54
退職給付に係る負債	1,543	1,534
資産除去債務	130	169
その他	31	26
固定負債合計	1,756	1,785
負債合計	14,594	14,336
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	890	890
資本剰余金	1,948	1,969
利益剰余金	15,939	15,231
自己株式	△874	△866
株主資本合計	17,904	17,224
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	781	1,275
その他の包括利益累計額合計	781	1,275
株式引受権	134	115
非支配株主持分	142	133
純資産合計	18,963	18,749
負債純資産合計	33,557	33,085

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	7,074	7,895
売上原価	2,645	2,709
売上総利益	4,429	5,186
販売費及び一般管理費	3,430	3,811
営業利益	998	1,375
営業外収益		
受取利息	4	7
受取配当金	13	17
受取賃貸料	4	4
その他	6	4
営業外収益合計	28	33
営業外費用		
その他	1	0
営業外費用合計	1	0
経常利益	1,026	1,408
特別利益		
投資有価証券売却益	—	22
特別利益合計	—	22
特別損失		
投資有価証券売却損	—	46
特別損失合計	—	46
税金等調整前中間純利益	1,026	1,384
法人税等	349	442
中間純利益	676	941
非支配株主に帰属する中間純利益	16	27
親会社株主に帰属する中間純利益	660	913

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	676	941
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	493
その他の包括利益合計	△38	493
中間包括利益	638	1,435
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	621	1,407
非支配株主に係る中間包括利益	16	27

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。